

普及活動情勢報告（令和3年9月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

新規就農者の収量アップを目指して ～サポートチームによる新規就農者のほ場現地確認の実施～



ほ場現地確認中

9月9日、関係機関や農業委員等で構成するいの町吾北地区サポートチームが、新規就農者1人のオクラほ場において、営農状況の聞き取りを行いました。

新規就農者からは「ヨトウは防除しても効かない、どんな農薬がいいか」等質問が出されました。ヨトウの被害がひどく、チームで対策について助言を行いました。

現地確認を行うことで、栽培状況を把握すると共に新規就農者の疑問の解消につなげることもできました。

農業改良普及課は、今後もJA等関係機関と連携して新規就農者の技術向上、定着に向けて支援していきます。

ショウガのドローンを活用したスマート農業を見てみよう ～JA土佐市生姜部会 ドローンを活用した農薬散布実演会～



実演会の様子

9月7日、JA高知県土佐市生姜部会はドローンによる農薬散布実演会を土佐市戸波地区、北原地区のほ場で開催し生産者24人、関係機関17人が参加しました。

実演会では農業技術センターの機体を使用し、農業改良普及課がオペレーターを務め、農薬メーカーやドローン販売店等の協力も得ながら実施しました。

ドローンによる薬剤散布を初めて見る参加者がほとんどで、操作や機体の性能等について質問が出されました。

今回の実演を通じ防除作業の省力化を実感してもらい、ドローンを活用したスマート農業への関心を高めることができました。

今後も、農業改良普及課は生姜部会や関係機関と連携し、スマート農業の導入に向けた取り組みを進めていきます。

土佐市特産加工品の販促活動に向けて！ ～万能たれ3姉妹のリーフレットの作成～



撮影後の試食会でクラブ員が料理を説明する様子

8月19日、中央西農業振興センターで、とさし旬物クラブの加工品である、たれ3種類を紹介するリーフレット用の写真撮影と試食会を開催しました。

これまで開発支援してきた焼肉のたれ、生姜焼きのたれ、ネギ塩だれを使ったアレンジ料理を紹介するために、料理の試作と写真撮影を行いました。

グループ員からは「小さいリーフレットだけど料理名だけでなく、それぞれ写真で2種類ずつ紹介できるので良さそう」などと販促に向けた声も聞かれました。

農業改良普及課は、今後もリーフレットの完成に向けて支援していきます。

地元住民と協力した食農教育の実施 ～土佐市高石小学校で稲作体験学習を支援～



緊張しながら、足踏み脱穀

9月8日、土佐市高石小学校5年生の児童12名がお米の脱穀を行いました。高石地区青少年育成協議会と協力して、4月28日に田植え、登校日の8月18日に稲刈りとはげかけ、9月8日に脱穀を行いました。農業改良普及課は稲刈り終了後「3本の苗からどれくらいの粃が採れたか」実際に数える提案を行い実施しました。

粃を数えた児童から「思ったより多かった」「こんなにあるがや」などの声があがりました。

今後も農業改良普及課は、さまざまな機会を通じて食農教育を支援していきます。